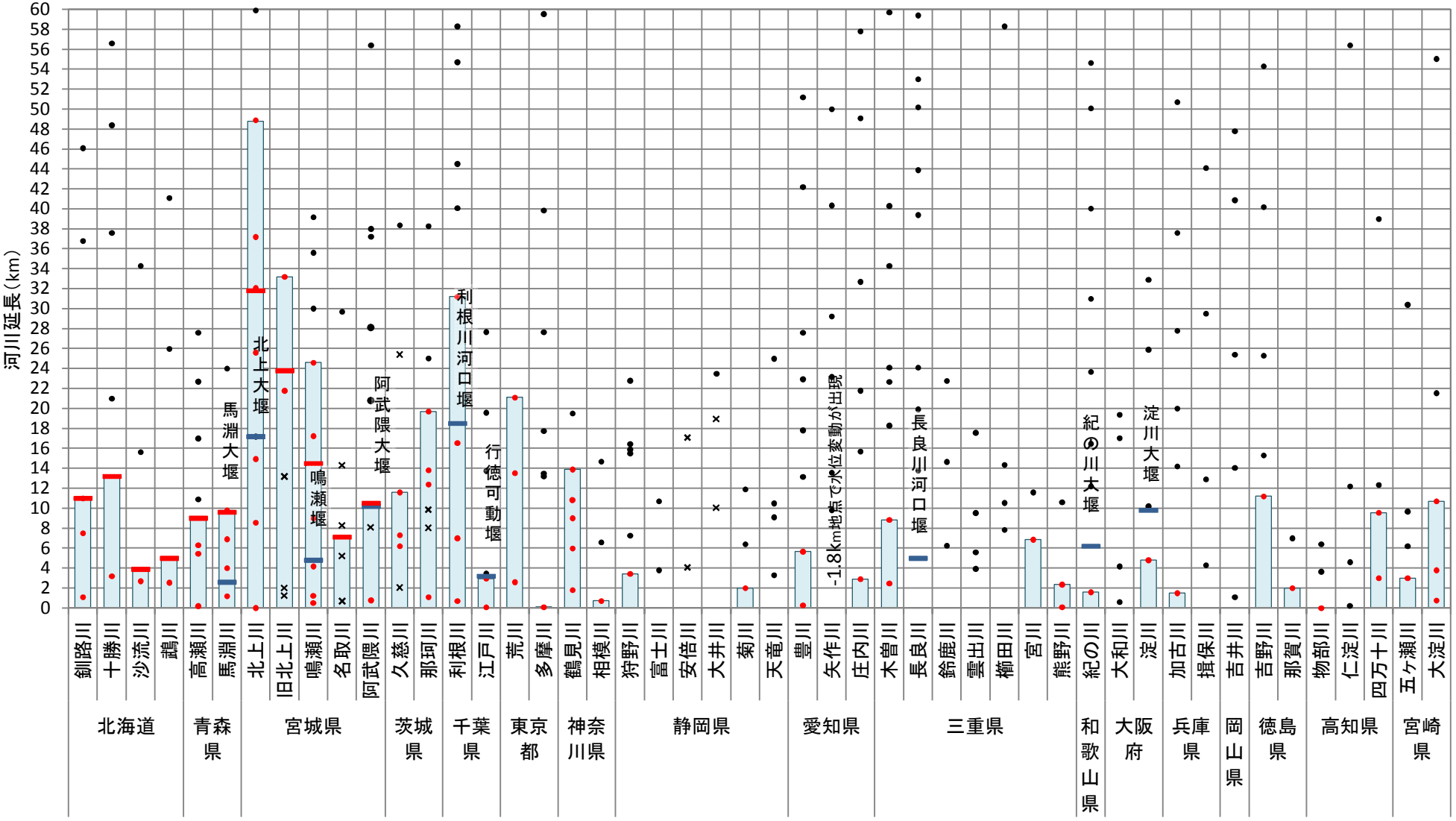
資料３

第１回委員会資料の訂正と補足

資料３－１

直轄河川における津波到達地点



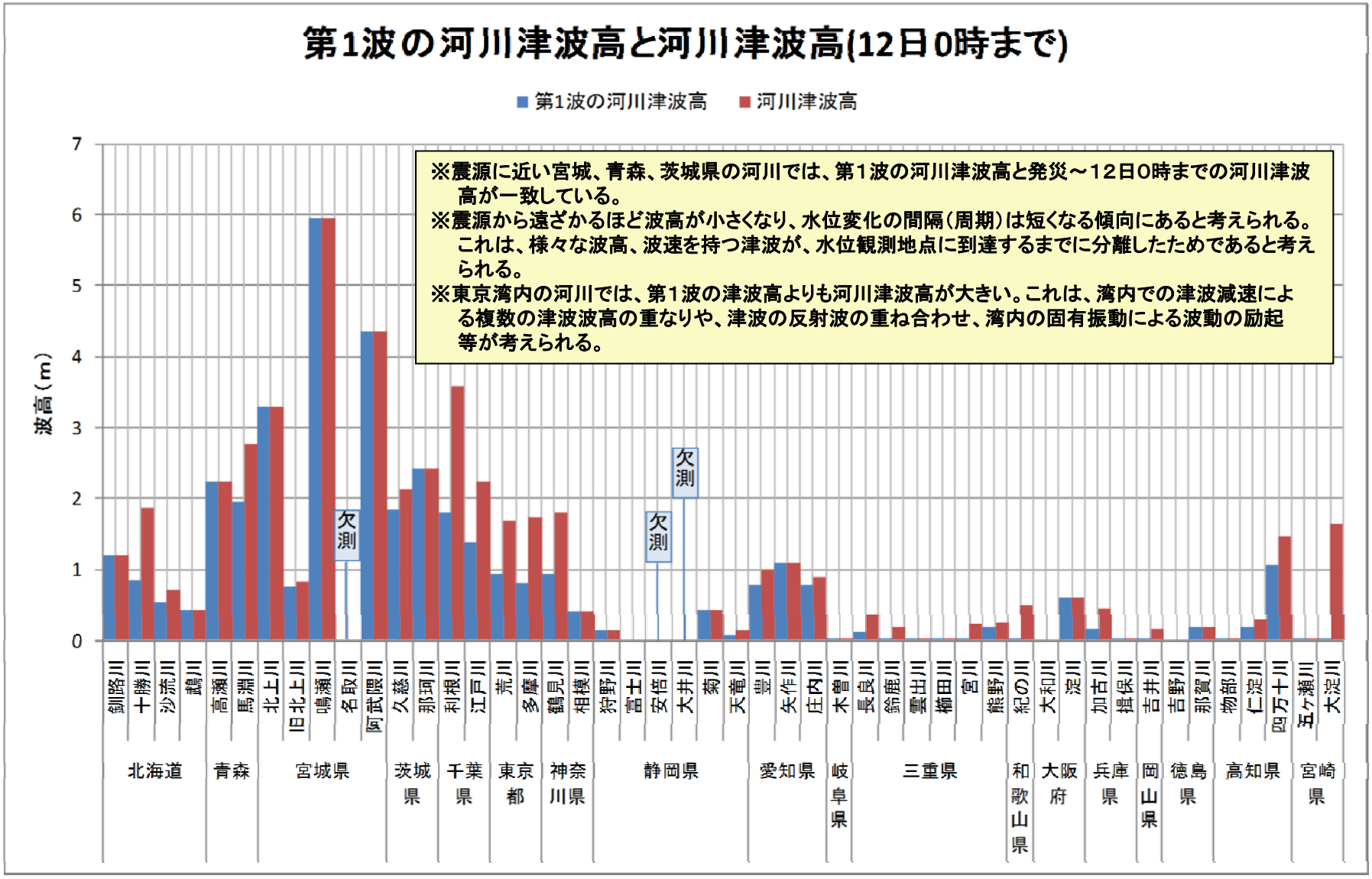
●：津波の到達が確認された水位観測所
●：津波の到達が確認されない水位観測所
×：欠測水位観測所

※津波の到達が確認された水位観測所とは、発災前の水位変化に較べ連続した水位変化が見られた水位観測所である。

—：堰の位置
—：津波の痕跡が確認された最上流地点
□：痕跡調査または水位観測所で遡上が確認された津波到達地点

痕跡調査：国土交通省
水位観測データ：市町村向けの統一河川情報及び地方整備局発表資料による

河川別水位観測所の第１波の津波高と河川津波高

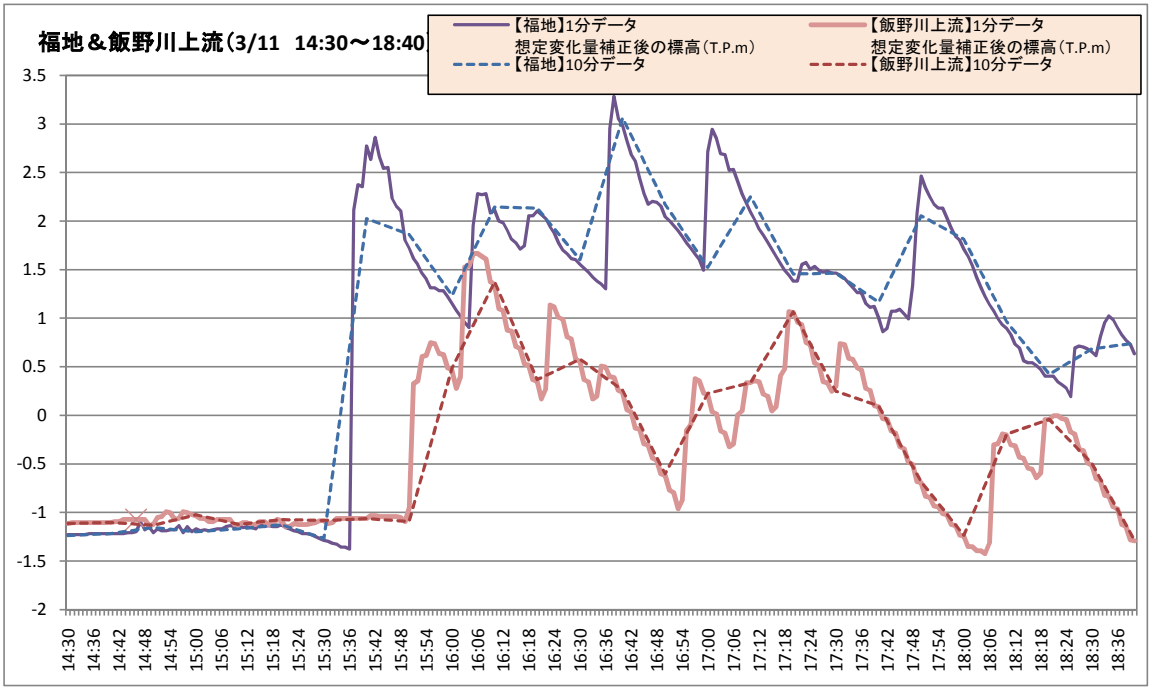


※グラフにおいて、欠測表示以外の河川のうち波高が示されていない河川は、顕著な水位変化が確認できない河川である。

出典：市町村向けの統一河川情報データを用いて作成

資料３－２

北上川における1分水位データと10分水位データの比較（福地水位観測所及び飯野川上流水位観測所



1分データ

地点	距離標(km)	第1波ピーク到達時刻	遡上速度(m/s)		
福地	8.57	15:42	8.17		
飯野川上流	14.94	15:55		9.42	8.46
北上大堰(下)	17.2	15:59			

区間	差分	
福～飯	6.37 km	13 分
飯～北(下)	2.26 km	4 分
福～北(下)	8.63 km	17 分

地点	距離標(km)	第1波立ち上り前到達時刻	遡上速度(m/s)		
福地	8.57	15:36	7.58		
飯野川上流	14.94	15:50		9.42	7.99
北上大堰(下)	17.2	15:54			

区間	差分	
福～飯	6.37 km	14 分
飯～北(下)	2.26 km	4 分
福～北(下)	8.63 km	18 分

10分データ

地点	距離標(km)	第1波ピーク到達時刻	遡上速度(m/s)		
福地	8.57	15:40	3.54		
飯野川上流	14.94	16:10		-3.77	7.19
北上大堰(下)	17.2	16:00			

区間	差分	
福～飯	6.37 km	30 分
飯～北(下)	2.26 km	-10 分
福～北(下)	8.63 km	20 分

地点	距離標(km)	第1波立ち上り前到達時刻	遡上速度(m/s)		
福地	8.57	15:30	5.31		
飯野川上流	14.94	15:50		#DIV/0!	7.19
北上大堰(下)	17.2	15:50			

区間	差分	
福～飯	6.37 km	20 分
飯～北(下)	2.26 km	0 分
福～北(下)	8.63 km	20 分

※北上大堰については、第1回委員会資料1　P19を参照。

津波の遡上と漂流物（北上川）

資料3－3

川底の砂利、土砂、捨て石などが散乱、堆積（本来は一面ヨシ原）（L3k付近）

津波は堤防を越波。橋桁、護岸、舗装も流失。（L3k付近）

北上大橋左岸側のトラスが落橋し、上流へ約400m流される。（L4k付近）

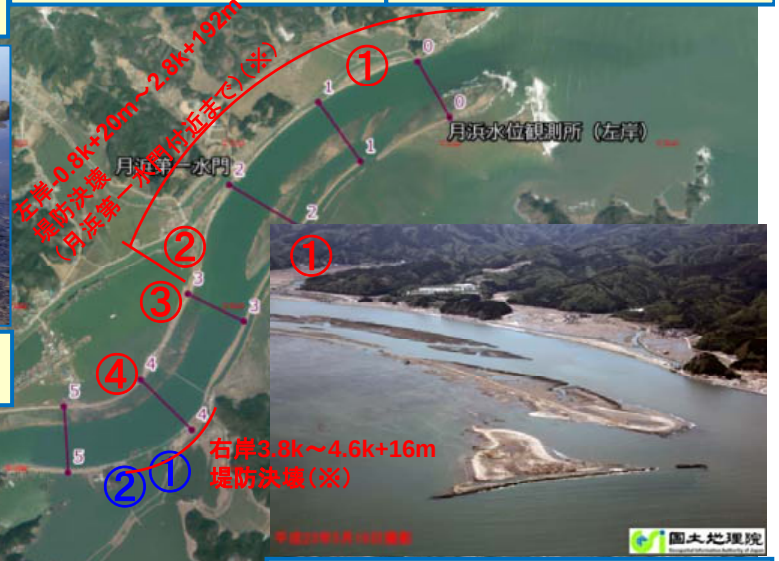
対岸（右岸）はかろうじて越波せず。（L6.5k付近）

漁船、浜に生えていた松などが漂着。（L9k付近）

流木が堤防天端にまで漂着。（L11k付近）

流木が堤防天端にまで漂着。（L11k付近）

痕跡調査による津波の到達地点。（L31.8k）



左岸河口部付近状況。（L0.5k付近）

釜谷地区破堤状況。（R4.5k付近）

釜谷地区破堤状況。（R4.5k付近）

船舶漂流の最上流地点。（R17k付近）

※被災箇所は概ねの位置を示す

津波の遡上と漂流物（鳴瀬川）

特殊堤が一部流出。
（R0.3k付近）

野蒜水門
（R0.5k）

漂流物の状況。
（R5.0k付近）

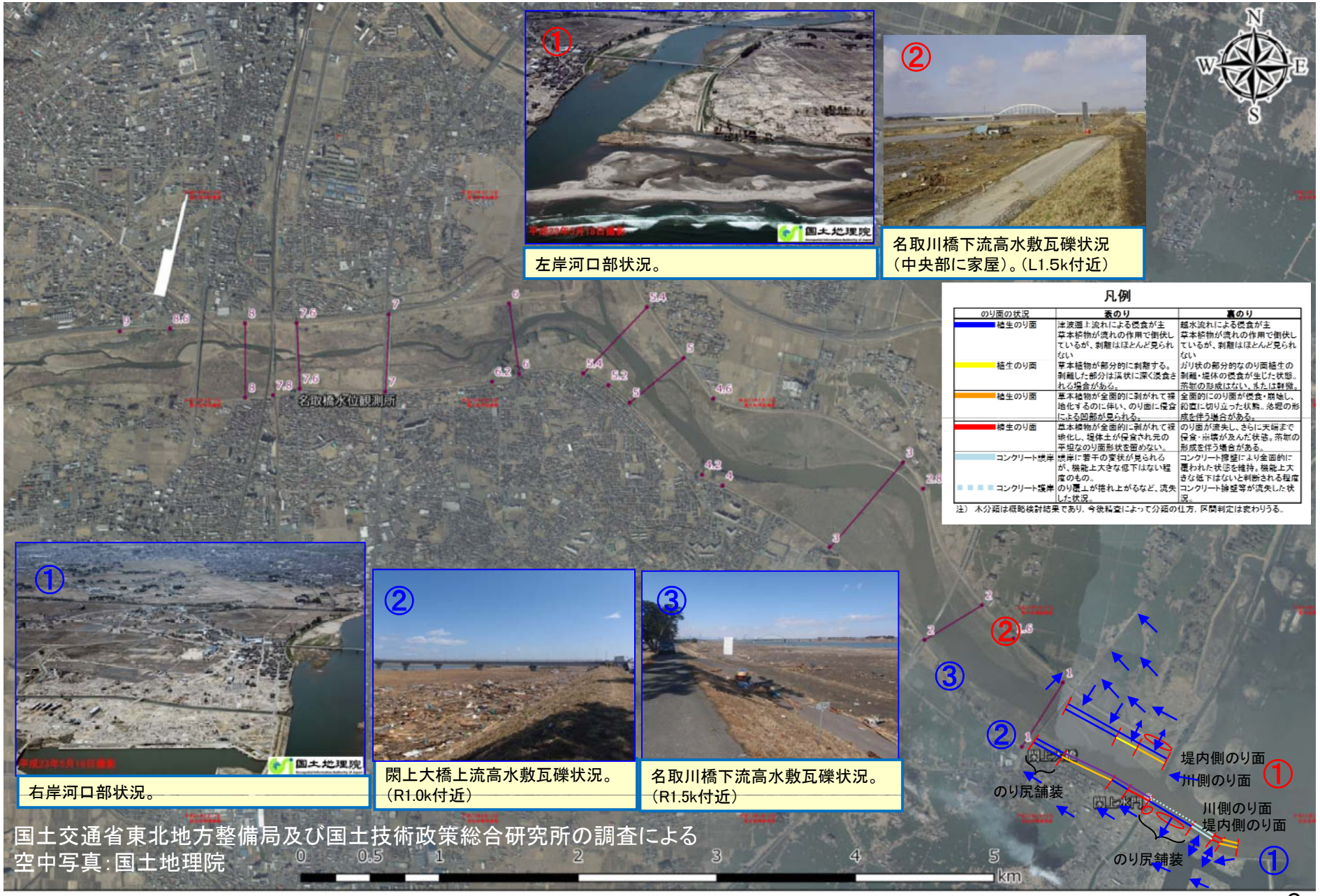
船舶漂流の最上流地点。
（R6.4k付近）

痕跡調査による津波の到達地点。
（R14.5k）

左岸河口部状況。

国土交通省東北地方整備局及び国土技術政策総合研究所の調査による
空中写真：国土地理院

津波の遡上と漂流物（名取川）



津波の遡上と漂流物（阿武隈川）

右岸河口部付近状況。(0.0～1.0k付近)

左右岸河口部付近状況。(0.5～1.5k付近)

亘理大橋下流高水敷瓦礫状況。(L1.4k付近)

漂流船舶によるゲート塗装の損傷（8号ゲート）(10.2k付近)

凡例

のり面の状況	表のり	裏のり
植生のり面	津波遡上流れによる侵食が主 草本植物が流れの作用で倒伏しているが、剥離はほとんど見られない	越水流れによる侵食が主 草本植物が流れの作用で倒伏しているが、剥離はほとんど見られない
植生のり面	草本植物が部分的に剥離する。 剥離した部分は溝状に深く浸食される場合がある。	力り状の部分的なのり面植生の剥離・堤体の侵食が生じた状態。 洗堀の形成はない、または軽微。
植生のり面	草本植物が全面的に剥がれて裸地化するのに伴い、のり面に侵食による凹部が見られる。	全面的にのり面が侵食・崩壊し、鉛直に切り立った状態。洗堀の形成を伴う場合がある。
植生のり面	草本植物が全面的に剥がれて裸地化し、堤体上が侵食され元の平坦なのり面形状を留めない。	のり面が流失し、さらに天端まで侵食・崩壊が及んだ状態。洗堀の形成を伴う場合がある。
コンクリート護岸	護岸に若干の変状が見られるが、機能上大きな低下はない程度のもの。	コンクリート擁壁により全面的に覆われた状態を維持。機能上大きな低下はないと判断される程度
コンクリート護岸	のり覆工が捲れ上がるなど、流失した状況。	コンクリート擁壁等が流失した状況。

注） 本分類は概略検討結果であり、今後精査によって分類の仕方、区間判定は変わりうる。

国土交通省東北地方整備局及び国土技術政策総合研究所の調査による

※被災箇所は概ねの位置を示す

津波の遡上と漂流物（馬淵川）

馬淵大堰下流漂流物状況。
（R2.6k付近）

新大橋下流高水敷漂流物状況。
（L1.1k付近）

馬淵大堰漂流物状況。
（L2.6k付近）

馬淵大堰左岸魚道漂流物状況。
（L1.1k付近）

高水敷漂流物状況。
（L3.5k付近）

国土交通省東北地方整備局の調査による
空中写真：国土地理院

津波の遡上と漂流物（高瀬川）

国土交通省東北地方整備局の調査による
空中写真：国土地理院

痕跡調査による津波の到達地点。
（K6 No.3+8.6L付近）

市柳川水門付近の状況。漂流物は殆どなし。（L1.0k付近）

津波の遡上と漂流物（旧北上川）

漂流物状況。
（L11.8k付近）

船舶漂流の最上流地点。
（L21.0k付近）

漂流物状況。
（R6.6k付近）

船舶漂流状況。
（R15.4k付近）

国土交通省東北地方整備局の調査による
空中写真：国土地理院